

佳作 日本の生活の色



グエン ティ ジュ

NGUYEN THI DIU

国 籍 ベトナム

職 種 溶接

実習実施者 平本産業株式会社

監理団体 デジタル共販事業協同組合

日本に来てから一年以上経ちます。19歳の時ベトナムと習慣、食べ物、天気、何もかも異なる国、日本に来ることを決めました。出国する前、友達に「日本での生活はバラ色ではない」と言われました。とても不安でした。日本に来たとき、言語が私の最大の障壁でした。私は本当にみんなと話したいのですが、私は間違ったことを言うのではないかと心配していました。みんなは間違った日本語を聞いて笑います。それで、徐々に私は静かになり、おしゃべりが少なくなりました。その時の私の目は真っ黒でした。私は毎日家族に電話して話すことしかできません。両親は私の暗い顔を見て、大いに励ましてくれました。家族が心配する必要がないように、私は幸せでなければならないことに気づきました。今では、日本語を学び、以前より自信を持って話せるようになりました。みんなとても熱心で、たくさん教えてくれました。だんだんと会社のみんなと友達になり、話したり外食したりするようになりました。すごくうれしいです。みんなと私の仕事について話すとき、相手はきまって驚いて、「なぜ女の子なのに溶接を選ぶの？」と尋ねてき

ます。日本に来る前、これは私が働きたいと思っていた業界ではありませんでした。ただ、給料が安定しているので選びます。見習いのときは大変な苦労があり、やけどやけがをすることが多かったので、仕事に行くのが怖い日もありました。先輩が「不可能なことは何もない。すべてが初めてなんだから。」と言ってくれて、徐々にそれを理解しました。しばらく働いた後、私はこの仕事に慣れて好きになりました。

初めて日本で新幹線に乗った時は、駅員の熱意に本当に驚きました。最初は乗るのに苦労しました。切符の買い方も、どの電車に乗るかもわかりませんでした。スタッフに聞くのが怖くて、日本語もあまりわかりませんでした。しかし、私がパニックになったとき、彼らは私を助けに来て、私に分かるように何度も話しました。すごいと思います。駅員だけでなく、日本人はとても親切で、熱心で、とてもすばらしい働き方をしているようです。すべてが私にとってますます簡単になっています。そして私はそれを知らずにここの生活と人々を愛しています。今、「日本の生活を色で例えたら何色か」と聞かれたら、私は「私にとってはピンク、白、赤です。色がたくさんあります。」と答えます。人生の色は自分で描いています。美しく彩りましょう。難しいことでも、頑張らなければなりません。夢をかなえるのに簡単な方法はありません。

日本に来て、みんなに会い、たくさんのことを学び、徐々に成熟してきたことを本当にうれしく思います。今は日本の春、さくらの季節が咲きます。機会があれば、家族を日本に呼びたいです。